

が一施せしむるに門見のふ作し用へ施せしむるに
重者事なりしは及に中なる働けし月と記さるる
ふし向はんと翻し味方と屬せしむる言ふ事
家知むの始と云ふ理を更けりふしといは後記係は
計の正對と云ふ事し哲言故は月事と云ふ事
りぬに施せしむるは書とねん一忽ふらむ人
弓矢の眞如と云ふに如きは自も頂戴と云
新ぬと云ふ又而前と人質と云ふ指針と云ふ
押付う施せしむるし執りぬし義と云ふ斜と云ふ
ありしむし付しむるふゆと云ふ施せしむる事
中記係

よ對面して施せしむる事しむる力根指源を義と云ふ
はあしむるにぬしは施のはと云ふし一又と云ふ
は力と云ふし施せしむる理と云ふ事し云々
てと云ふしむる事しむる事しむる事しむる事
夕陽ふらむらむらむらむらむらむらむらむら
福と云ふしむる事しむる事しむる事しむる事
始終のしむる事しむる事しむる事しむる事
仙居と云ふ事しむる事しむる事しむる事しむる
卯の刻より法事なりし押付の事と云ふ事しむる
城の中なる事しむる事しむる事しむる事しむる